事務事業評価シート

評価実施年度: 平成28年度

施策Ⅱ-1-1 上位の施策名称 危機管理体制の充実・強化

1	.事務事業の目的・概要	事務事業担当課長	薬事衛生課長が柳の俊徳	電話番号	08

52-22-5257 感染症の医療体制整備事業 事務事業の名称 感染症法に基づく入院治療が必要な、一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ及び指定感染症の患者、並びに新感染症の所見がある (1) 対象 日 的 (2) 意図 適切な治療をし、感染症のまん延を防止する

重篤な感染症患者を入院治療させるため、第一種及び第二種感染症指定医療機関について整備し、適切な医療を提供し感染症のまん延を防止するため、医療機関 に対し、施設設備整備の補助等を行う。 事 概

2.成果参考指標

要

	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
	指標名	第一•二種感染症指定医療機関確保率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	
4			取組目標値						%
'	式・ 第一・二種感染症指定医療機関数 定義 症指定医療機関数×100	第一・二種感染症指定医療機関数/県内に必要な第一・二種感染	実績値	100.0					
		症指定医療機関数×100	達成率	ı	_	_	_	1	%
	指標名		目標値						
2			取組目標値						
_	式 · 定義		実績値						
			達成率	ĺ	_	-	_		%

3事業費

<u></u>						
	前年度実績	今年度計画				
事業費(b)(千円)	11,488	298,505				
うち一般財源(千円)	6,187	289,512				

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含 改善策の実施状況 む)

5.評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

医療機関に対し空床補償費等を補助し、感染症病床を適正に確保・運営している。

- ・第一種感染症指定医療機関 1箇所 2ま(陰圧100%) ・第二種感染症指定医療機関 7箇所 28床(陰圧100%)

6.成果があったこ と (改善されたこと)

①感染症指定医療機関

第一種(2床)第二種(28床)を確保済

②新型インフルエンザが発生した場合に備え、 医療体制

を確保

• 入院病床: 366床

• 帰国者接触者外来: 22医療機関

• 特定接種登録医療機関:336医療機関

7.まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

新型インフルエンザやエボラ出血熱等、海外からの感染症発生時の医療体制の確保と維持

②困っている状況が発生している「原因」 ・どのような感染症が発生するか予測ができない

③原因を解消するための「課題」

:場合に備えて、医師会や医療機関との協力体制を維持する必要がある。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)
・感染症患者に適正な医療を提供するためには、県・郡市医師会との強固な協力体制を維持し、定期的に情報交換会等を開催するなど継続した取り組みが必要であ

- ・ ・ また、新型インフルエンザ対策についても、医師会、医療機関や医療関係団体等と引き続き、連携を図っていく必要がある。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効 率的・効果的に行ってください。

・上記「5、評価時点での現状」、「6、成果があったこと」、「7、まだ残っている課題」、及び「8、今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5、評価時点での現状→6、成果があったこと」、又は「5、評価時点での現状→7、まだ残っている課題→8、今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてくださ

9. 追加評価(任意記載)

更新日: 2016/12/13 16:16